

兵庫県民間病院協会会報

2024

9

令和6年 通巻643号

目次

巻頭言	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 藤 久 和	1
随 筆		
2025年に向けて	(一社)兵庫県民間病院協会 理事 栗 原 英 治	2
ChatGPTとの付き合いかた	(医)公仁会 明石仁十病院 事務長 岸 上 源太郎	3
めぐりあわせ	(医社)みどりの会 酒井病院 看護部長 橋 本 桂 子	4
令和6年度 第19回研究発表会		6
病院かわら版	(医財)光明会 明石こころのホスピタル	9
エリア情報 (西阪神・東播)		11
協会だより		12
お知らせ		13
(一社)兵庫県全日本病院協会だより		14
兵庫県病院協同組合だより		17
兵庫県病院企業年金基金だより		18

(題字は齋藤兵庫県知事)

貧しても鈍せず 2024年診療報酬改定がもたらす 民間病院経営の課題

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(公社)日本海員掖済会 神戸掖済会病院

院長 藤 久和



昨今、地域医療を取り巻く環境は大きく変化しており、特に民間病院にとっては経営の持続可能性が重大な課題となっています。

高齢多死社会の進展に伴い、医療ニーズはますます多様化・複雑化しております。最新の医療技術や機器の導入が求められる一方で、疾病に加えて多くの社会的問題をかかえた患者さんの中には必ずしも先進的な医療を期待しているわけではなく、むしろどのように社会資源を利用してよいのかもわからない方が多くいます。このような現状で公的大病院とは異なり、中小の民間病院に求められる役割はより一層幅広く、大病院と同様に多くの人的資源を必要とします。2024年の診療報酬の改定では、院内の多職種連携のみならず地域で病病や病診の連携を深め、人材不足や医療機器などの資源を共同で利用することを求めています。行政の思惑と実臨床には大きな解離が生じています。

民間病院では医師の働き方改革により、実質的な延べ人数は減少し、当直体制のみならず、特定集中治療管理料や重症度、医療・看護必要度の算定にも大きく影響しています。新設のリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算のようにタスクシフトを促していますが、その設定ハードルは高く、土日に働く、リハビリ療法士の確保が困難です。医療のDX化でも本年の7月のデータではマイナ保険証の利用率は全国で11.13%と低迷しております。厚労省は8月30日の医療保険部会で、利用実績が著しく低い施設に対して地方厚生局が個別に事情を確認する方針を示していますが、その要因は多くの患者さん自身が希望されなかったり、慣れないために使用しなかったりしているのが現状です。診療報酬上で政策を進める必要性は理解できますが、政府の医療費抑制政策の一環としての診療報酬改定は、特に民間病院の経営に大きな影響を与えるため、その安定性が脅かされています。病院が理想とする医療提供を行う上で、労働条件の改善や人材育成による人材確保ならびに医療機器の維持や更新も投資面を考えると病院経営にさらなる負担を強いる状況です。

このような状況下で、私たち民間病院は、地域医療の担い手としての責任を果たしつつ、持続可能な経営を実現するために、今後も知恵を絞り、協力体制を強化していく必要があります。地域との連携を深め、地域住民のニーズに応える医療サービスの提供を続けることが、我々の使命であり、また地域社会にとっても必要不可欠な存在であり続けるための鍵となるでしょう。

2025 年に向けて

(一社)兵庫県民間病院協会理事
(社医社)順心会 順心病院

理事長 栗原 英治



2025年には、国民の5人に1人が後期高齢者の超高齢化社会を迎えることで、医療・福祉の分野でも今まで以上に多くの影響や諸問題が予想されます。

また、近年の少子化の加速により、雇用の面では、医療・福祉の人材確保はより一層困難となり、施設運営自体そのものが難しくなると思います。こうした中、これからの病院経営を考える上で、私共の法人が直面している課題を挙げてみました。

ひとつは、施設の地域での役割を明確にし、職員ひとりひとりがその役割を理解し、他施設との連携をしていく中で、信頼され、選ばれる施設になる必要があります。

日常業務では、他職種連携によるチーム医療を行い、各スタッフがそれぞれの分野の役割を理解し合い、コミュニケーションをとり、情報を共有する事が大切です。その根底には、常に助け合い、教え合い、感謝することが大事であると考えます。

そうした業務が、現在問題となっている様々なハラスメントを減らす事が出来ると考えます。

次に、実際の運営上、一番の問題は人材確保です。

医師の働き方改革を含め、実質労働時間の削減が求められる中、一定数の退職者がいる中で有効な人材確保の解決策はありません。最低限、職員にとって、働きやすく、働きがいのある職場環境作りが必要だと考えます。

一方、施設の中には、老朽化により建て替えや改修が必要になってきておりますが、昨今の資材、設備費、人件費の上昇により、その費用が2倍以上に高騰しています。

現在の診療報酬制度では、その費用を償却する事は困難で、その対策と時期が今後の施設運営に大きな課題となっています。

以上のように、今後の運営には多くの課題があり、これに対し特別な有効な解決策はありません。

まず、優先順位で出来る事から始めるしかありません。そうした中、重要な事は各施設、各部署で現状を分析し、課題を解決していくような経営感覚を持った人材が欠かせません。

自分達の病院をよくしていき、次世代に続けて行こうという人材育成が必要です。

ChatGPT との付き合いかた



(医)公仁会 明石仁十病院

事務長 岸上 源太郎

新しいもの好きである私は、約2年前からLLM (Large Language Models) の一つChatGPT (以下、GPT)に課金して利用しています。現在、私にとってGPTは気軽に相談できるアシスタントになりつつありますが、その進化速度があまりに速く、使い手が追いつけないほどです。仕事の道具として「鬼に金棒」と言いたいところですが、現実には「猫に小判」です。

GPTの特長は、与えられたテキストから次の言葉を予測するように学習された人工知能です。言語生成に優れていますが、実際の物理的な経験や世界モデル (物理法則や常識的な理解) を持たないため、時折、常識に欠けた回答をします。たとえば、「綿菓子にレンガを載せたら押しつぶされる」という基本的な現実認識を持たずに回答することがあります。以下のやり取りが最近ネット上で話題になりました。

ChatGPT4への質問：「綿菓子の高さは8センチ、レンガの高さは7センチ。綿菓子の上にレンガを置くと、高さは何センチ？」

ChatGPT4の回答：「綿菓子の高さが8センチで、レンガの高さが7センチの場合、綿菓子の上にレンガを置くと、合計の高さは15センチになります。」※現在は、既に適切な回答ができるように進化しています。

このやり取りだけでは、GPTが一見使えないように感じますが、私は日常業務において、文章チェックや会議前の論点整理、複雑な分析や統計処理等にGPTを多用します。これにより、PC上で完結する業務の依頼が大幅に減り、

浮いた時間を他の業務に充てる恩恵を受けております。GPTは、気兼ねなく依頼を受けてくれる有能なアシスタントの評価です。

今後、LLMの進化はさらに続くと言われております。研究者たちは、LLMに「世界モデル」を持たせるためにさまざまな方法で改良を試みており、一部の研究者は「目や手足を持つロボットにLLMを組み込むべきだ」と提唱しています。実現すれば、世界モデルを持つLLMが誕生する可能性もあります。そうになると、私の業務の大半がGPTのようなアシスタントに取って代わられるのではないかと、という不安がよぎります。

ただし、技術革新によって仕事が奪われるという話はこれまでも繰り返されてきました。1960年代のオートメーションからコンピューター、ロボット、インターネット、ERP、AI、DXと、技術革新の新たな話題は尽きません。これらの技術を提供する方も、メディアも商売なので仕方ありませんが、依然として「忙しい」「人手が足りない」という声が聞こえてきます。

とはいえ、技術革新に依存することで自分自身の成長が止まるのではないかと、自分自身が不要になるのではと不安に思うことがあります。これには、自分の判断力や直感、倫理的な考え方を磨き続けることが大切だと感じるようになりました。GPTは、私の役割や責任を果たすものではありません。進化する道具の力を借りながらも、自分自身が成長し、患者さんのために何ができるか、職員が安心して安全に働ける環境をどう作るかを、常に考えていきたいと思っております。

めぐりあわせ

(医社) みどりの会 酒井病院

看護部長 橋本 桂子



随筆のテーマを検討している際、ふと思ったことがありました。卒後より、自分の看護師人生をじっくりと振り返ったことがないと。三日坊主の日記だったり、自己学習ノートを棚から引っ張り出して、振り返っていきました。常日頃から、人生は『めぐりあわせ』があると思っています。看護師のお仕事も『めぐりあわせ』が多いお仕事ではないだろうかと思いながら振り返っていきました。その中で、三つの出来事がありました。

一つ目は、卒後間もない頃で、緊張の毎日でした。ある日、いつものように新患者さんのもとへ、当日の日勤担当であると挨拶に訪室しました。私が名前を名乗った時、その患者が「○○のけいこちゃんか」と言われ、私が頷くと、手を握られ涙を流されたのです。いきなりのことで、驚いたのと、この場面をどうしてよいのか動揺していると、ゆっくりと患者さんが話をされたのです。初対面だと思っていましたが、父の仕事仲間だったのです。父は、私が10歳の時に病死したため、わずかな思い出しかありません。患者さんは、私の知らない父のことをたくさん教えてくれました。父との思い出が少ない私にとっては、とてもうれしくて、たくさん父の話を聞き、父を知ることが出来ました。患者のベッドサイドに行く楽しみを教えてもらいました。個人的な感情でこじつけかもしれませんが、ベッドサイドは、患者とのコミュニケーション

ンの宝庫であると思いました。

二つ目は、看護師として、自信がついてきた頃、整形外科の患者さんが、入院されました。その患者に挨拶に行くと、「お家は落ち着きましたか。」と問われるのです。仕事・育児・家庭の両立を図ろうと奮闘していた平成21年、台風9号による佐用町・宍粟市の災害にあい、私の実家は半壊以上と判断されました。仕事は休暇をもらい、復興作業に専念することに。数日後、災害ボランティアの方々が、応援に来てくださり、一気に復興作業が進んでいきました。この時、私の実家を手伝ってくれたボランティアの方が、この患者さんだったのです。災害時は、作業中に感謝の言葉を伝えるくらいで、ちゃんとお礼を伝えられていませんでした。そして、はっきりと顔すら覚えていなかったのです。この入院されている間、看護で恩返しができたらと思いました。私が後悔しないために、恩返しのチャンスが巡ってきたのだと感じていました。

三つ目は、看護学生の頃、寮生活だった私は、大好きな伯母の家によく行っていました。泊めてもらって、お弁当も作ってもらい、甘えてばかりの私を、本当にかわいがってくれました。ある日、伯母が体調の異変を、私に相談してきたのです。不安になりすぐに病院で診察を受けるよう促しました。看護学生のまだ浅い知識の中でも、良くないことと気づきました。腫瘍だったのです。気づいたときには転移しており、あっという間に、伯母はこの世から消えてしまい、

期待してくれていた看護師の姿も見せることが出来ませんでした。伯母は、つらいのを我慢していたのだろうか、いつから症状があったのか、熱心に調べることで、伯母のつらさを理解しようとしていたのを覚えています。

伯母の死から、約10年後。私は身体のわずかな異変に気付きました。初期の腫瘍だったので、手術し元気になりました。あの伯母の病気を、熱心に調べ知識となっていたので、私はわずかな症状に気付けたのだと思うと、伯母が教えてくれたのではないかと、解釈をし、命を守ってもらったと思っています。

『偶然』のようなその時々のお会いをきっかけに、自身に変化していくことも多くあります。たくさんの出会いの中で、学び・成功・失敗し、経験しながら成長していく日々の中、過去を含めてめぐってきた出会いは、単なる再会では済ませられない『めぐりあわせ』だったと感じています。この三つの出来事から得た感情と感覚が私の看護観の一部となり、また看護師人生の中で糧となる大切なターニングポイントだったと振り返ることが出来ました。これから看護を続ける中で、どのような『めぐりあわせ』が待っているか楽しみにしたいと思います。

 SOMPO

受け継ぐのは、人への思い。

私たちがはじまりは130年以上前の明治時代。

「人々の暮らしや幸せをお守りしたい」

この創業の思いが、原点であり原動力です。

これからも、すべての人々の幸せとより良い社会の実現に向け、

私たちは挑み続けます。



東京の街を守るため結成された
私設消防団「東京火災消防組」(1888年)

損保ジャパンの
ブランドストーリーは
こちら▶



損保ジャパン

(一社) 兵庫県全日本病院協会 (一社) 兵庫県民間病院協会

令和6年度 第19回研究発表会

日時 令和6年8月24日(土) 13:30～16:40

場所 兵庫県民会館

一般社団法人兵庫県全日本病院協会・一般社団法人兵庫県民間病院協会の2団体主催による「第19回研究発表会」が令和6年8月24日(土)、神戸市中央区の兵庫県民会館において、県下の会員病院等から約190名が参加して開催されました。

鄭正秀兵庫県全日本病院協会副会長のあいさつの後、3会場に分かれ、退院支援・在宅、リハビリテーション、急性期、慢性期、栄養、薬剤、業務改善をテーマに、12セッションで47事例の研究発表があり、発表後は活発な意見交換が行われ、有意義な研究発表会となりました。



鄭副会長 主催者あいさつ

【プログラム】

13:30 開会式

主催者あいさつ

(一社) 兵庫県全日本病院協会

副会長 鄭 正秀 (神戸博愛病院理事長)

13:40～16:40 研究発表



各会場の座長及び発表テーマ・発表者は、次のとおりです。

第1セッション 慢性期1 (13:40～14:10)

座長 尼崎中央病院 看護師長 坂本奈津子

- 1 回復期リハビリテーション病棟におけるコロナ禍での面会制限に伴う看護師と患者家族との関わり
の困難さと工夫 ～看護師経験別での比較～
尼崎だいもつ病院 看護部5階病棟
吉田 美幸
- 2 PNSの導入効果と今後の課題 ～効果的な実践に向けての取り組み～
洲本伊月病院 看護部 森本 高文
- 3 ユマニチュードの取り組みを行なったスタッフへの意識調査
～スタッフ・患者の意識や反応の変化について～
西病院 2階病棟看護部 亀澤 有紀

第2セッション 慢性期2 (14:10～14:50)

座長 西宮協立リハビリテーション病院

看護部長

寺岡由佳里

- 4 内服自己管理アセスメントシート使用による判断基準の統一化の結果
～看護師へのアンケート調査を通じて～
西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
看護部 加藤 理沙
- 5 療養病棟の特殊性に合わせた患者ケアの充足を目指して
～業務改善への取り組み～
尼崎中央病院 看護部 中川 知美
- 6 認知症患者のアセスメントへの取り組み
～薬剤部との連携を通して～
加古川磯病院 看護部 松尾 美穂

- 7 難治性褥瘡を持った患者の看護 ～入院から在宅へ、多職種が関わった1症例～
大隈病院 看護部 外来 山田 信恵

第3セッション 慢性期3 (15:00～15:40)

座長 北須磨病院 看護部長 稲城千賀子

- 8 摂食機能療法の実施率の向上を目指して
明和病院 看護部東館4階病棟 中田 智子
- 9 口腔ケア全介助患者の口腔ケア用品選択用フローチャート使用前後での看護師の意識変化とその影響
西宮協立リハビリテーション病院 看護部 奥村 志乃
- 10 回復期リハビリテーション病院における自己導尿の介入について ～受け入れ困難であった患者へのアプローチの検討～
明石リハビリテーション病院 看護部 橋本亜沙子
- 11 尿道留置カテーテル適正使用に向けたアセスメントシートの導入及び定着促進活動の効果
谷向病院 看護部 中山 佳代

第4セッション 慢性期4 (15:40～16:20)

座長 洲本伊月病院 看護部長 木下 昌子

- 12 A病院の回復期リハビリテーション病棟における入浴介助の課題 ～安心・安全な浴槽入浴にむけたセラピストと看護要員の思い～
ツカザキ病院 看護部 藤尾 まい
- 13 回復期リハビリテーション病棟における入浴介助の統一
本山リハビリテーション病院 看護部 (介護福祉士) 西村 民子
- 14 転倒転落を防ぐため、ベッド周囲の環境を見直して
明和病院 看護部東館4階病棟 片芝 侑希
- 15 ラバーシーツの使用頻度の見直し
宮地病院 老人保健施設あずさ 藤原理恵子

第5セッション 慢性期5 (13:50～14:30)

座長 高岡病院 看護部長 毛利 まき

- 16 リハビリスタッフの吸引技術習得に向けた

教育システムの構築 ～タスクシフトと協働による患者サービスの向上～

姫路中央病院 看護部 丸田まどか

- 17 介護指導情報共有シート活用による主介護者の不安軽減効果
西宮協立リハビリテーション病院 看護部 5階病棟 柴原 桃子
- 18 物品管理の見直しによる業務改善への取り組み
中林病院 看護部 外来部門 立川 香澄
- 19 外来職員の接遇意識への取り組み ～研修を通して～
西病院 外来看護部 田出 千夏

第6セッション 退院支援・在宅 (14:30～15:10)

座長 熊野病院 看護部長 瀧本美奈子

- 20 退院支援の可視化に向けての取り組み ～退院支援共有シートを作成して～
はくほう会加古川病院 東3階病棟 大原 由香
- 21 外来での継続看護 ～つながる継続看護への取り組み～
大久保病院 看護部 坂根 桃子
- 22 訪問看護師による吹き戻しを用いた呼吸トレーニング効果の検討
長久病院 訪問看護ステーション広畑こまつ 新原 紫織
- 23 自宅での経口摂取を達成したキアリ奇形の1症例
大隈病院 診療技術部 志水 哲史

第7セッション リハビリ1 (15:20～15:50)

座長 仁明会病院 作業療法室主任 野島 正輝

- 24 リハビリテーション室でのPREP法を意識した伝達の活用について
明石こころのホスピタル 医療技術部 リハビリテーション室 稲 将希
- 25 退院後の社会生活を想定したパラレルな場を利用した作業療法の取り組み
明石こころのホスピタル 医療技術部 リハビリテーション室 清水 孝則
- 26 アルコール依存症患者に対してミーティングプログラムを実施した結果報告

明石こころのホスピタル 医療技術部
リハビリテーション室 藤田 敦也

第8セッション リハビリ2 (15:50～16:40)

座長 西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
リハビリテーション科 統括課長 上野 勝弘

- 27 コロナ禍から現在までのレクリエーションの推移
長久病院 通所リハビリテーション科
西村 祐貴
- 28 生活歴シートの充実と活用を目指した取り組み
宮地病院 介護老人福祉施設ぼー愛
中西 清香
- 29 新人教育に関する取り組み ～他職種との
目標設定の考え方の構築、新人スタッフの
成長を目指して～
本山リハビリテーション病院 リハビリ
テーション科 山口 裕
- 30 内視鏡下における距離変化の照度測定
西宮協立脳神経外科病院 臨床工学科
安田 達夫
- 31 小児患者に対する頭部CT検査被ばく量低
減の取り組み
長久病院 放射線科 山本 剛司

第9セッション 急性期 (13:50～14:30)

座長 ベリタス病院 看護師長 後藤 紋乃

- 32 血管内治療時の動脈穿刺後の出血予防の取
り組みについて
長久病院 看護部 佐々木 聖
- 33 人工呼吸器離脱に対する看護
大西脳神経外科病院 看護部 吉賀 仁美
- 34 新型コロナウイルス感染症病棟における看護師の
ストレス実態調査 ～要因解明と軽減に向け
たピアサポートの実践～
西病院 3階病棟看護部 谷林 美果
- 35 動画を活用し統一した術前オリエンテー
ションへの取り組み
大西脳神経外科病院 看護部 久保奈美子

第10セッション 栄養 (14:30～15:10)

座長 中谷病院 診療技術部栄養科主任 松平 章吾

- 36 当院の早期栄養介入管理加算の現状と課題
尼崎中央病院 栄養部 片桐 絵美
- 37 経管栄養から経口摂取へ移行した一症例
大隈病院 栄養課 森谷紗也果
- 38 夏季における作業環境向上に向けての取り組み
長久病院 栄養管理科 松田 和也
- 39 一般病棟の管理栄養士病棟常駐による48
時間以内の早期栄養管理の取り組み
西宮協立脳神経外科病院 栄養科
花岡麻里子

第11セッション 薬剤 (15:20～16:10)

座長 安藤病院 薬剤科 科長 吉田あすか

- 40 BKP術後患者におけるツムラ89治打撲一
方内服による術後経過の検討
長久病院 リハビリテーション科 篠原 由樹
- 41 当院のレカネマブ導入の経過
姫路中央病院 認知症疾患医療センター
高橋 学美
- 42 六君子湯により食思不振が改善した急性期
脳卒中の一例
長久病院 薬剤部 平福 京佑
- 43 当院のプロトコールに基づく薬物治療管理
(PBPM) の取り組み
西宮協立脳神経外科病院 薬剤科
江川 巧
- 44 業務改善を目的とした医薬品適正使用及び
ポリファーマシーに対する当院の取り組み
宮地病院 薬剤科 杉野 直美

第12セッション 業務改善 (16:10～16:40)

座長 野木病院 リハビリ科長 柳本 智

- 45 老健・病院の統一化
入江病院 介護老人保健施設ゆめさき
栄養科 松尾 帆浪
- 46 地域連携本部の発足 ～医療・介護グルー
プの特性を活かして～
西病院 地域連携本部 寺岡 純
- 47 コスト対策を行った1年を振り返って
入江病院 介護老人保健施設ゆめさき
通所リハビリテーション 伊藤 大介

病院 かわら版



事務部長
伊福 亮一

当院は明石市藤江に位置し、昭和6年の開設以来93年の長きにわたりこの地で精神科医療に携わって参りました。ロケーションとしては比較的交通の便もよく、山陽電鉄の藤江駅より徒歩5分、

JR西明石駅からも車で5分程度の距離にあるため、患者さんの通院の負担軽減にも繋がっています。

2014年の本館病棟の建替えを機に、精神科慢性期医療から同救急医療へと大きく方針転換し、現在は276床（精神科救急急性期治療入院病棟168床、精神科急性期治療病棟78床、児童思春期病棟30床）で運営しております。

精神科病院のイメージを変えるべく建物は明るく開放的な設計となっており、患者様の療養環境だけではなく、地域住民の皆様にも気軽に利用いただけるようレストランやコンビニ、

医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル

ATM、そして敷地内には郵便ポストやたこバスの停留所を設けるなど、利便性の向上についても日々検討し、取り組んでいます。

この度「病院かわら版」への掲載の機会を頂きましたので、誌面をお借りして2023年に竣工した西館病棟についてご紹介をさせていただきましたと思います。

西館病棟は正確に言えば1期工事完了時の2021年8月より稼働しておりますが、この病棟では主に認知症疾患や児童・思春期の患者さんに特化した病棟構成となっております。

まずは認知症疾患について、当院は2018年10月より認知症疾患医療センターの認可を受け、保健・医療・福祉・介護の各機関と連携を図りながら認知症疾患の鑑別診断とその初期対応、専門医療相談などを実施しており、入院が必要となる際もシームレスな対応を確立しています。院内では身体機能のリハビリテーション



西館病棟



本館病棟

にも力を入れ、住み慣れた地域での生活に戻っていただくことができるよう多職種で関わっております。また、退院後はデイケアを利用される方も多く、日常生活のリズムを維持できるようお手伝いしています。

つぎに児童・思春期の疾患については、不登校や自閉スペクトラム症、発達障害など様々ありますが、そのどれもが近年増加傾向にあり、子どものメンタルヘルス向上は喫緊の課題となっています。当院では児童精神科医と公認心理士が協力して成長期にある子どもの個別性に応じた医療サービスを提供し、社会生活への適

応能力を高めるための援助を行っています。

また入院となった際は学業面に支障が出ないように院内学級を設置し、教職員と医療スタッフがチームとなり全面的なサポートを実施しています。

最後に、「人間への深い眼差しをもった精神医療の実践」という理念のもと地域に根差した精神科病院として、安心・安全な医療を提供できるよう歩んで参りたいと思いますので、連携をいただいている医療機関の皆様におかれましては今後ともよろしくお願い申し上げます。



西館1F 総合受付



西館1F キッズコーナー



エ リ ア 情 報

西阪神

2024年度 事務長研修会 議事録

開催日時 令和6年8月15日(木)
15:30～16:50
開催場所 西宮市医師会 会議室
出席者 33名のうち18名出席
議長 野原会長
書記 小田原 (協和マリナホスピタル)

議 案

- 1 医事部会よりご報告
 - ・7月開催の医事部会議事録をもとに報告。
→特に質疑なし。
- 2 その他
 - ・新型コロナウイルス感染症の動向
→協立リハビリテーション病院でクラスター発生。現在は終息に向かっている。
5名から数十名の感染者がみられる病院がある。
各病院とも職員は0プラス5日経過後に出勤。
 - ・谷向病院より
→電子カルテシステムが3回ほどダウン(原因不明だがUSB使用が関係しているか)。USBの使用制限は、していなかった。
 - ・東阪神支部事務長会より西阪神支部と合同研修会(懇親会)の打診があり9月開催予定。
 - ・クレーム対応について
→各病院とも最終事務長が対応することが多い(兵庫医大は警察OB 2名採用)。医療事故になりうる案件は、西宮では医師会に報告、相談の手段がある。

◎次回の事務長研修会の予定

- ・日時：令和6年9月19日(木) 15:30～
- ・場所：西宮医師会 会議室

東 播

第609回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和6年8月13日(火)
16:30～17:40
場 所 ホテルキャッスルプラザ 西明石
参加者 黒川、田中、藤井、西井、吉岡、永田

協議事項

- 1 令和6年度の事業について
 - ・(株)ウイ・キャンに講師を依頼し、若手・中堅職員スキルアッププログラムを開催する。参加人数30名目標。今後の計画の見直しや来年度の研修方法を検討する。
まずは、参加人数を募ることとする。
 - ・合同研修会(2024年10月26日)は、会場担当者と打ち合わせ報告。
- 2 医療情報交換 等
 - ・最低賃金の件で、各病院の対応。
 - ・委託業者使用状況について、規制や手数料について意見交換した。

次回開催予定

- 日時：2024年9月10日(火) 16:30～
- 場所：ホテルキャッスルプラザ 西明石

エ リ ア 情 報

第610回 事務長会・役員会 議事録

日 時 令和6年9月10日(火)
16:30～17:20
場 所 ホテルキャッスルプラザ 西明石
参加者 黒川、田中、永田、船木、伊福、藤井、
山田、西井、吉岡、村上

協議事項

- 1 令和6年度の事業について
 - ・合同研修会（2024年10月26日）のリーフレットの内容確認を行った。250部の印刷準備を行い、研修会当日に活動報告書と一緒に参加者に配布する。
 - ・当日の参加者の名札印刷、名札ケース等の準備について確認を行った。

2 医療情報交換 等

- ・忘年会の開催予定について情報交換を行ったところ、ほとんどの施設が全職員対象の忘年会の開催を予定していた。部署単位で開催の忘年会に補助金を出す、お菓子のセットやお弁当を配布する、といった施設もあった。
- ・産業医の業務内容、紹介会社を通じて勤務される非常勤医師の状況、10月提出の厚生局への届け出について意見交換を行った。

次回開催予定

日時：2024年10月8日(火) 16:30～
場所：ホテルキャッスルプラザ 西明石

協会だより

令和6年 **9月** 2日(月) 兵庫県医療審議会地域医療対策部会
12日(木) 近畿病院団体連合会第1回委員会
17日(火) 会報編集委員会
19日(木) 理事会

〔予定〕

令和6年 **10月** 3日(木) 経営労務委員会
8日(火) 病院構造改革委員会
17日(木) 理事会
18日(金) 会報編集委員会
22日(火) 兵庫県感染症対策連携協議会予防計画部会
26日(土) 第42回事務長会・看護部長会合同研修会
29日(火) 近畿病院団体連合会事務局長会議

お知らせ

兵庫県民間病院協会会員名簿（令和5年度版）の変更について

頁	病院名(※)	箇所	変更前	変更後
50	介護医療院 すまいれすと夢野	理事長	にし お ゆき お(会員) 西 尾 幸 男	の し たもつ(会員) 熨 斗 有
55	伊川谷病院	院長	名誉院長 なか お もり つぐ(会員) 中 尾 守 次	院長 さい とう まさる(会員) 西 藤 勝
57	適寿リハビリ テーション病院	理事長	く もん あつし(会員) 公 文 敦	おお つ ひろし(会員) 大 津 浩

病院名(※)欄は、法人名等を省略して記載しています。

医業・介護経営研修会のご案内

「令和6年トリプル改定の影響と病医院経営対策」

講師：ASK梓診療報酬研究所 代表取締役 中林梓様

開催日時：令和6年11月29日(金) 14:30～16:30

開催場所：兵庫県立のじぎく会館 ホール 神戸市中央区山本通4丁目22番15号

受講料：3,000円(税込) 事前にお振込みをお願いいたします。

口座名義：公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会 兵庫県支部

りそな銀行 神戸支店 普通 0223607

※納入された受講料は原則としてお返しできませんので予めご了承ください。

申込締切：令和6年11月29日(金) ただし、定員になり次第締切らせていただきます。(150名)

申し込みは
こちら→



公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会
近畿地区協議会



公益社団法人

日本医業経営コンサルタント協会

Japan Association of Healthcare Management Consultants

お問い合わせ：中塚・奥田

豊中市寺内2-13-3 TEL(06) 6868-1165

mail:ayumi.okuda@nkgcr.co.jp

(一社)兵庫県全日本病院協会だより

お知らせ

兵庫県全日本病院協会会員名簿（令和5年度版）の変更について

頁	病院名(※)	箇所	変更前	変更後
15	伊川谷病院	院長	名誉院長 中尾守次(会員)	院長 西藤 勝(会員)
15	適寿リハビリテーション病院	理事長・院長	公文 敦(会員)	おおつ 津 浩(会員)

病院名(※)欄は、法人名等を省略して記載しています。

公益社団法人 全日本病院協会

2024年度 第2回理事会・第5回常任理事会

日時 2024年8月24日(土) 15:00～18:00

場所 伊香保温泉 森秋旅館 3F会議室「蓬春」

出席者 定数55名、出席42名

議事要旨(抜粋)

【主な報告事項】

●中央社会保険医療協議会 薬価専門部会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第226回・2024.8.7)

- 日本製薬団体連合会、日本製薬工業協会、日本ジェネリック製薬協会、米国研究製薬工業協会、欧州製薬団体連合会、一般社団法人日

本医薬品卸売業連合会からヒアリングが行われた。

- 薬剤費等の年次推移が報告された。

●中央社会保険医療協議会 総会について

津留常任理事より下記の報告がされた。

(第593回・2024.8.7)

- 2024年9月1日収載予定の医療機器の保険適

用が了承された。

- 2024年8月15日収載予定の新医薬品の保険適用が了承された。
- 市場拡大再算定品目として3成分、6品目が了承された。
- テゼスパイアの費用対効果評価結果に基づく価格調整案が了承された。
- 薬価削除等手続きを明確化した手続き案が提示され、了承された。
- DPCにおける高額な新規の医薬品等への対応について、2024年5月17日及び6月24日に新たに効能又は効果及び用法又は用量が追加された医薬品、2024年4月26日に公知申請が受理された医薬品並びに2024年8月15日に薬価収載を予定している医薬品等については、包括評価の対象外とし、次期診療報酬改定までの間、出来高算定するとの説明があり、提案通り了承された。
- 放射性医薬品を用いたPET検査の取扱い変更に伴う掲示事項等告示の一部改正について、アミヴィッド静注及びビザミル静注については薬価基準に収載されたことを踏まえ、掲示事項等告示別表第3から削除する改正事項が提示され了承された。
- 薬事審議会再生医療等製品・生物由来技術部会におけるコラテジェン筋注用4mg、ハートシートの審議の概要が報告された。

●特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会について

猪口会長より下記の報告がされた。

(第21回・2024.8.20)

- 前回の検討会で出された指摘事項等を踏まえ、これまでの議論の整理案が提示され議論した。
- 今後の議論の進め方として、①様々な状況の変化等を踏まえ、今般、特定機能病院に求められる機能について改めて整理・検討を行う、②まずは、大学附属病院本院について求められる機能を整理することとし、それ以外の特定機能病院とは異なる承認基準を設けること

も含めて、現状分析を含めた検討を行う、③その後、大学附属病院本院について、整理された論点を活用し、その他の特定機能病院に求められる機能等（必要に応じて、承認基準等に関する議論も含む）を引き続いて整理する案が提示され了承された。

●重要インフラCEO説明会「サイバーセキュリティの確保に向けた企業経営層向け意見交換会について」(2024.7.26)

神野副会長より下記の報告がされた。

- 河野大臣より、昨今のサイバー情勢を踏まえ、サイバーセキュリティの強靱化のためには官民連携による取組を一層強化していくこと、経営トップのリーダーシップによる対策の着実な実施が重要である旨が述べられた。
- 内閣府サイバーセキュリティセンターから、政府としての基本的なサイバーセキュリティ対策について説明が行われた。

●救急・災害医療提供体制等に関するワーキンググループについて

猪口常任理事より下記の報告がされた。

(第8回・2024.8.8)

- 座長に大友康裕氏（一般社団法人日本救急医学会代表理事）が選任された。
- 今後の進め方として、第8次医療計画の中間見直しに向けた議論に先立ち、①新しい救命救急センターの充実段階評価、②災害薬事コーディネーターについて検討することが提示され了承された。
- 救命救急センターの充実段階評価の見直しに関する想定スケジュールの説明が行われた。

●医療事故調査制度への病院としての対応に関する注意喚起について

今村常任理事より、医療安全・医療事故調査等支援担当委員会が取りまとめた「医療事故調査制度への病院としての対応に関する注意喚起案」について説明が行われた。

注意喚起案では、前回常任理事会における意見等を踏まえ、遺族からの申し出があった場合の対応について、「遺族からの申し出に対応できる体制を構築すること。申し出があった場合には事故調査に該当するかを検討すること」に文章を修正するとともに、別紙として補足説明資料を作成した。

●今後の全日本病院学会、夏期研修会開催予定について

池井常任理事より、今後の全日本病院学会、夏期研修会の日程が報告された。

●各種研修会案内について

猪口常任理事より、各種研修会を下記の通り開催することが報告された。

(1) 2024年度 看護師の特定行為に係る指導者リーダー養成研修会（オンライン）

【概要】

- ・日 時 2024年9月23日（月・祝）
9：30～17：20
- ・定 員 30名
- ・対 象
 - ①指導者講習会を企画開催しようとする者（指導者講習会企画責任者・チーフタスクフォース）
 - ②指導者講習会で講師をしようとする者（指導者講習会実施担当者・タスクフォース）
 - ③いずれ①②を考えている者
- ・参加費 11,000円（税込）

(2) 若手経営者の会 ナイトフォーラム

【概要】

- ・日 時 2024年9月28日（土）
21：00～23：00
- ・会 場 フォーチュンガーデン京都（京都府京都市）
- ・定 員 100名
- ・対 象 病院経営者及び経営者候補
- ・参加費 8,000円（税込）

●各委員会報告について

- ・広報委員会委員長の宮地常任理事より、全日病ニュース2025年新年号企画として日本航空鳥取三津子代表取締役社長との座談会を企画していることが報告された。
- ・学術委員会委員長の池井常任理事より、全日本病院協会雑誌の査読に関して、「投稿者の所属と氏名が明らかになっていることが適切であるか」と指摘があったことに対して、委員会としてこれまで通り、所属を明らかにした形で査読を行うことを確認したことが報告された。
- ・人間ドック委員会副委員長の加納常任理事より、人間ドック受診結果データの漏洩について、委員会で該当施設に事実関係と経緯を確認した上で、最終的に当協会から健康保険組合連合会に報告書を提出する予定であることが報告された。

●厚生労働省、日医、他団体報告について

- ・井上常任理事より、一般社団法人日本専門機構理事会（第2回・第3回）の報告が行われた。

●その他

- ・ペイシェントハラスメントについて
井上常任理事より、ペイシェントハラスメント（ペイハラ）訴訟の事例が紹介された。経緯、事案の概要、裁判の経緯等の説明後、意見交換が行われた。
猪口会長はペイハラ事例について、全日病ニュースのほか、弁護士などと相談して、医療機関がこのような問題を抱えていることを訴えていくことを検討したいとの意向を示した。
- ・第20回ヘルシー・ソサエティ賞について
猪口会長より、第20回ヘルシー・ソサエティ賞の「医師部門」に当協会から推薦した神野副会長が受賞したことが報告された。



兵庫県病院協同組合だより



平素は当組合の事業に対して、ご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

今回は、当組合の賛助会企業様のご案内をさせていただきます。

組合病院様・役職員様のお役に立てる、様々な商品を取り揃えている企業様ですのでぜひともご利用頂きますようお願い申し上げます。

アフラック募集代理店 株式会社エイフ

保障内容の確認・変更、給付金の請求、
保険の見直し等、保険のことで気なることが
ございましたら、お気軽にご相談ください。

【本社】
TEL 0120-65-0009
西宮市甲風園1-5-16

【甲子園駅前店】
TEL 0120-960-488
西宮市甲子園高潮町3-3 コロワ甲子園2階

詳しくは
こちら
→



みんながみんなの幸せを考える会社です。
健康維持、セルフメディケーションをサポートします。
家庭用常備薬等の斡旋をご利用ください。



株式会社 諒和
Ryowa Co., Ltd

〒535-0002 大阪市旭区大宮4丁目18番18号



☎(06)6952-7015(代表)

☎(06)6952-7137

🌐https://ryowa.website



ご予算・ご要望に応じた記念品のご相談承ります。

事業所向け医薬品、防疫薬品、医薬部外品、食品(健康食品・非常食) 健康関連用品、防災用品、日用雑貨、名入れ記念品等販売

医療業界の町の電気屋さんを目指します！ 院内のITサポートはお任せください！

院内および院外でのヘルプデスク業務をはじめ、
医療システムの提案・導入・保守・コールセンターまで
対応いたします。

■工事部隊によるLAN配線工事・電気・電話等も対応！



株式会社ヒューマンスピリッツ

TEL: 078-599-9961 FAX: 078-599-9962

MAIL : support@human-spirits.co.jp

URL : http://human-spirits.co.jp



フットラクは足の疲労
軽減や浮腫み・足つり予
防など『第2の心臓』と
言われるふくらはぎを中
心にケアするサポーター
です！

院内環境の向上をサポート致します！！

株式会社ライジングユニオン



詳細はコチラ

TEL 06-7165-2595
FAX 06-7165-4155

〒661-0965 兵庫県尼崎市次屋1丁目3番20号

兵庫県病院企業年金基金だより

兵庫県病院企業年金基金資産別運用状況一覧表 (2024年4月～2024年8月)

収益率計算方法 : 修正ダイナミック
 総合口6資産分解 : 分解する

ファンド名	国内債券		国内株式		外国債券		外国株式		キャッシュ等 (短期資金)			その他			資産全体		資産全体 修正総合利回り (構成比)
	時間加重 時価総額 (構成比)	金額加重 時価総額 (構成比)															
ベンチマーク	-1.41%	-	-1.79%	-	-0.11%	-	3.69%	-	0.00%	-	0.00%	-	0.00%	-	-	-	-
総合計	-1.39%	4,773,965,170	-1.82%	892,706,286	-0.02%	818,590,466	3.98%	907,039,463	0.01%	332,129,901	0.92%	1,330,051,854	-0.34%	9,054,483,140	-0.34%	100.00%	-0.34%
みずほ信託銀行合計	-1.42%	3,082,796,162	-1.92%	591,035,256	0.01%	551,819,758	4.06%	608,247,465	0.00%	272,345,579	0.96%	1,266,491,469	-0.24%	6,372,735,689	-0.24%	100.00%	-0.24%
みずほ信託銀行バラ ンス	-1.42%	3,082,796,162	-1.92%	591,035,256	0.01%	551,819,758	4.06%	608,247,465	0.00%	272,336,562	-	-	-0.54%	5,106,235,203	-0.54%	100.00%	-0.53%
みずほ債券S A	-	60.37%	-	11.57%	-	10.81%	11.91%	-	0.00%	5.33%	-	-	-0.44%	637,974,784	-0.44%	100.00%	-0.44%
みずほアラロン	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	9,017	2.42%	637,974,784	2.42%	637,983,801	2.42%	100.00%	2.42%
三井友信託銀行バ ランス	-1.38%	760,768,986	-1.68%	154,669,650	-0.10%	138,826,578	3.77%	153,906,536	0.00%	0	0.00%	63,560,385	-0.52%	1,271,732,135	-0.52%	100.00%	-0.52%
三井UFJ信託銀行バ ランス	-1.39%	697,516,214	-1.56%	147,001,380	-0.08%	127,944,130	3.85%	144,885,462	0.05%	58,616,186	-	-	-0.52%	1,175,963,372	-0.52%	100.00%	-0.52%
りそなマルチ	-1.04%	232,883,808	-	12.50%	10.88%	12.32%	12.32%	4.98%	0.00%	1,168,136	0.00%	-	-1.04%	234,051,944	-1.04%	100.00%	-1.04%
		99.50%		-		-		-	0.50%					100.00%			2.58%

注) 「ファンド名」- 「ベンチマーク」は、ファンド「総合計」のベンチマークの値を表示。

兵庫県病院企業年金基金時価増減一覧表 (2024年4月～2024年8月)

収益率計算方法 : 修正ダイアツ法

金額単位 : 円

ファンド名	速確区分	2024年3月末 時価総額	2024年8月末 時価総額	増減額			給付等		収益	時間加重 収益率	複合ベンチ マーク騰落率
				2024年8月末 時価総額	増減額	掛金等	給付等	収益			
総合計	確	9,100,517,344	9,054,483,140	-46,034,204	197,749,159	213,247,884	-30,535,479	-0.34%	-		
みずほ信託合計	確	6,403,600,552	6,372,735,689	-30,864,863	197,749,159	213,247,884	-15,366,138	-0.24%	-		
みずほ信託バランス	確	5,149,179,301	5,106,235,203	-42,944,098	197,749,159	213,247,884	-27,445,373	-0.54%	-		
みずほ債券S.A	確	640,783,901	637,983,801	-2,800,100	0	0	-2,800,100	-0.44%	-		
みずほフアロン	確	613,637,350	628,516,685	14,879,335	0	0	14,879,335	2.42%	-		
三井住友信託バランス	確	1,278,330,889	1,271,732,135	-6,598,754	0	0	-6,598,754	-0.52%	-		
三菱UFJ信託バランス	確	1,182,082,187	1,175,963,372	-6,118,815	0	0	-6,118,815	-0.52%	-		
りそなマルチ	確	236,503,716	234,051,944	-2,451,772	0	0	-2,451,772	-1.04%	-		

【月末マーケット指数】

	NOMURA-BPI		日興CB		TOPIX		FTSE世界国債		MSCI-KOKUSAI		10年国債		米10年国債		米10年国債		米10年国債		
	366.497	361.325	-	-	4,689.20	4,615.06	587.98	587.34	8,067.185	8,364.940	40,369.44	38,647.75	151.345	145.605	39,807.37	41,563.08	4.20	3.91	
2024年3月末																			
2024年8月末																			
年度末比上昇率幅	-1.41%	-	-	-	-1.79%	-	-0.11%	3.69%	-4.26%	-	-3.79%	4.41%	-	-	-	-	-	-	-1.40%

兵庫県病院企業年金基金のホームページ <http://www.hyogokenbyoin-kikin.or.jp>

ISR

Intelligent Social Reliance
アウトソーシング サポート



ISRビル (統括本部)

〒650-0026
神戸市中央区古湊通1丁目2番
(ISRビル)

(業務案内)
TEL 0120-366-761
www.isr-group.co.jp

社会保険労務士
ISR 梨本

働き方改革策定

労働条件・ハラスメント

労働保険事務組合
経営者会議

概算確定・労災特別加入

合同会社
ISR パーソネル

副業推進支援

人材紹介・リーダー育成

ISR e-Sports

シニア躍動・企業健康経営

株式会社
アイ・エス・アール

データセンター ISR

レセプト管理・情報デザイン

ISRサテライトオフィス

リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

男女共同参画社会づくり協定グループ (兵庫県)

病院年報・周年記念誌

承ります！

会報、大学要項など
70年以上の実績があります。



今ご覧いただいている会報誌も弊社で作成いたしました。

患者様向け小冊子

も承っています！

例えば、診察・入院・手術などの手引書を、
幅広い年代や、日本語が不慣れな方向けに

- ・ 翻訳
- ・ イラスト作成
- ・ ストーリー仕立てのまんが化

動画にも
できます

すべてまるっと、お任せください！

印刷以外も

ご依頼ください！



ホームページ



動画



デジタルサイネージ



看板



資料のデジタル化
(冊子・図面など)

情報をデザインする会社



株式会社 七旺社

URL : <https://www.shichiou.co.jp>

TEL : 078-575-5212

FAX : 078-577-8366

e-mail : info@shichiou.co.jp

〒653-0012 神戸市長田区二番町4丁目27番地



担当：高田まで

医療・福祉のスマート経営に、
アプリケーションは自由自在。



多様な業務をコーディネートし、お客様に合ったサービスをお届けします。
業務内容の組み合わせも、お気軽にご相談ください。

医療・福祉事業経営のトータルアウトソーシング・ソリューション
ワタキューグループの【包括委託サービス】
(セイモアシステム)

包括的に一元的に医療経営・福祉事業経営をサポートする【セイモアシステム】は、ワタキューグループ各社の協力体制で実現しています。

- ワタキューセイモア(株) / リネンサプライ・販売・総合サポート
- (株) フロンティア / 調剤薬局事業・福祉用具レンタル・販売事業
- 日清医療食品(株) / 給食受託事業・在宅配食サービス事業
- (株) メディカル・プラネット / 人材紹介・派遣・研修事業
- 綿久リネン(株) / ホテル・レストラン向けリネンサプライ
- 古久根建設(株) / 総合建設業



健康と快適の明日を考える

ワタキューセイモア株式会社

www.watakyu.co.jp

近畿支店 / 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町多賀茶臼塚12-2 TEL 0774-82-5101

神戸営業所 / 〒651-1301 兵庫県神戸市北区藤原台北町7-4-1 藤田建設ビル2F TEL 078-982-2940

業 務 案 内

兵庫県病院協同組合 (設立昭和 37 年)

幹 旋 及 び 取 扱 い	基準寝具及び 白衣・患者衣の賃貸	○ワタキューセイモア(株)
	牛乳	○(株)共進舎牧農園
	ねずみ・衛生害虫防除	○アペックス(株)
	自動販売機による飲料	○(株)チェリオ Co.、ダイナミックベンディングネットワーク(株) 関西コーヒー(株)、(株)アペックス西日本、 関西キリンビバレッジサービス(株)
	保 險 代 理 店	○損害保険ジャパン代理店 (組合募集代理店…(株)インシュアランスサービス・(株)A・I・P) 兵庫県民間病院協会の会員病院、従業員を対象とした自動車保険・火 災保険等の取扱い ○アフラック生命保険株式会社 (組合募集代理店…(株)エイフ) 組合員病院、従業員を対象とした集団扱い商品(がん保険)の取扱い
	自 動 車 リ ー ス	○(株)イチネン
	家庭常備薬、サプリメント (対象:組合員病院の全職員)	○(株)諒和(旧 大日商事(株)) 組合員病院の職員の福利厚生及びその家族の疾病予防、健康増進の一 助として、年2回幹旋実施
	紳士服、レディース用品 (対象:組合員病院の全職員)	○(株)青山商事と提携 「洋服の青山」で買い物時、「AOYAMA タイアップカード」(入会無料) の提示により、通年、10%の割引(割引セールの場合は割引後の価格 から)が受けられる。(福利厚生の一助として)
引越 (対象:組合員病院及び組合 員病院の全職員)	○(株)サカイ引越センターと提携 「特別割引専用ダイヤル」(TEL 0120-56-1141)で申込みと、特別優待 割引(引越基本料金の20%以上割引。但し3月15日～4月15日は除く) が受けられる。(福利厚生の一助として)	

※上記以外にも、オゾン方式グリーストラップ改善装置、転倒リスク軽減離床センサー、多言語映像通訳等の
病院関連商品をはじめ、病院運営に役立つ物品・機器の紹介や幹旋をおこなっています。

※また、院内業務改善やコスト削減、患者様へのサービス向上、職員の満足度向上等をお考えの組合員病院様に、
実現へのお手伝いができるよう、組合から適切な事業者・事業をご紹介します、ご提案などをさせていただきます。
お気軽にお問合せ下さい。

加入病院 120病院
 主な取引銀行 商工中金、みなど、日新信金他
 理事長 西 昂 (医療法人康雄会 西病院理事長)
 専務理事 鄭 正 秀 (医療法人社団博愛恵秀会 神戸博愛病院理事長)
 常務理事 森 村 安 史 (医療法人樹光会 大村病院理事長)
 事務局長 谷 水 直 人

- ・協同組合には10万円の出資金のみ拠出いただければご加入できます。ご加入後は年会費など頂戴するこ
とはありません。
- ・取扱い業務並びに組合加入その他詳細は協同組合事務局へお問い合わせください。

協同組合事務局・TEL (078) 230 - 2525
 FAX (078) 230 - 2526



(一社)兵庫県民間病院協会会報

令和6年9月25日発行・通巻643号

発行人 一般社団法人 兵庫県民間病院協会会長 西 昂
〒651-0086 神戸市中央区磯上通6丁目1番11号 兵庫県医師会館7F
TEL (078) 230-1181 Eメール info@hgminkanhp.or.jp
URL <https://www.hgminkanhp.com>
編集者 東 靖人、榊 政重、榎本暁士、原 正也、山田泰嗣、吉田明史

印刷 (株)七旺社 神戸市長田区二番町4丁目27番地・TEL (078) 575-5212(代)